

アカゲラ通信



2025年元旦、初日の出は拝めたか？

2025（令和7）年元旦、今年の初日の出は、見られたようで、見られなかつたよう。日の出少し前の6時50分には展望台周辺に300人以上が集まり、初日の出を待っていました。その頃は曇りでしたが、無風だったため寒さはそれほどでもない感じでした。

7時を過ぎて空がうっすらと明るくなりだしても、太陽が昇る南東方向の空は雲に覆われ、なんとなく雲が薄く黄色っぽく染まっているかなあ、という程度。

日の出時刻7時6分。太陽は見えず。早々に見切りをつけて帰る人の流れが既にできていました。

7時10分を過ぎ、藻岩山平和の塔上空の雲が薄くなり、空が明らかに橙色になってきました。

その雲の向こうに太陽の形がはっきりと見えました。

初日の出です！ 展望台周辺では、初日の出が見えることを期待してまだ100人以上が残っていましたが、その願いが叶いました。

その後しばらくの間は太陽の形が雲間や雲の陰で見えたり見えなつたり、雲の隙間から太陽の光が筋状に漏れる「天使のはしご」が見られました。

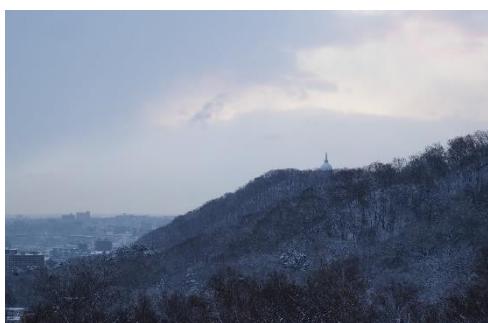
7時40分過ぎ、太陽が藻岩山の上まで上ると、今度は雲の向こうにはっきりと太陽が見えました。

8時を過ぎると太陽は雲の向こうで分からなくなり、雪交じりの天気になりました。

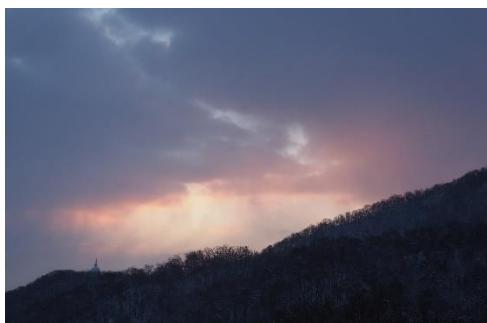
初日の出、地平線から昇る瞬間は見えなかつたけれど、まったく見えなかつたということもなく、それなりにきれいな光景を見ることができました。

2025年元旦の人出は約400人。駐車場や道路も大きな混乱はなく無事過ごせました。

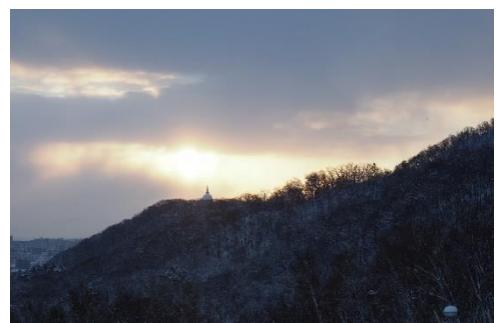
本年もよろしくお願ひします。



7時6分 日の出時刻は曇り



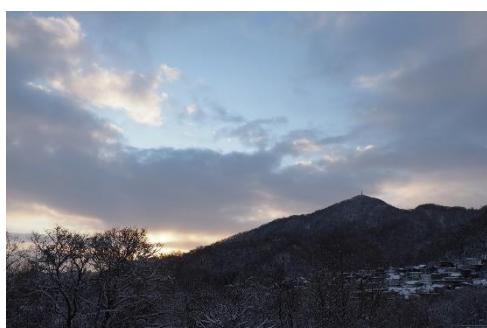
7時12分 雲の切れ間が橙色に



7時27分 太陽がはっきりと見えた



7時33分 「天使のはしご」



7時35分 上空に一瞬だけ青い空が



7時49分 雲の向こうの黄色い太陽

スノーシュー無料レンタルしています

今年も森の家にてスノーシュー無料レンタルしています。

金・土・日・祝朝 10時から 15時まで森の家にて受付しています。

今年も、今年こそ、スノーシューで冬の旭山を歩いてみませんか！？



レストハウス「ぼるく」、2025年度は4月オープン予定です。

旭山野鳥メモ番外編② カワガラス

カワガラス Brown Dipper *Cinclus pallasii* スズメ目カワガラス科

日本全国で留鳥。河川上流域や渓谷に生息するが水量が少ない川にはいない。雌雄同色。幼鳥は胸に魚の鱗のような模様が出る。

旭山記念公園では現時点では観察記録はない。旭山川と双子沢川が流れているが、狭くて水量が少なく短いためいないものと思われる。

近場では豊平川ウォーターガーデン、豊平川に流れ込む支流の山鼻川で見られるが、本流ではありません見られない。農試公園の琴似発寒川や西岡公園にもいる。円山公園と中島公園で観察記録がある。

石の裏等にいる水生昆虫が主な餌で、水に潜って泳ぐ姿は、どことなくペンギンを彷彿とさせる。川面から飛び出た石によくとまり、白い糞が石にこびりついていることもある。

目が白い瞬間に覆われると目が白く見え、かなりの確率で「目が白い」写真が撮れる。

繁殖活動の時期が早く、北海道でも11月には「ヒヨロヒロヒー」と柔らかな声の囁りが聞かれ、2月にはもう雛が孵化している。滝の奥の岩崖や岩の隙間、排水溝の陰など岩場の隠れた場所に営巣する。

カラスと名がつくがカラスの近縁種ではない。よく見ると茶色で黒くはない。足がとにかく頑丈そう。ころっとした体つきで行動を観察していると面白く、意外にといってはなんだが、愛嬌がある鳥だ。



2025年1月の野鳥トピックス

- シマエナガ：ほぼ毎日出ており低い位置で見られる日もあります
- キクイタダキ：園内の針葉樹で散発的に見られています
- キバシリ：カラマツ林で見られていますが他所ではないです
- ツグミ：50羽かそれ以上いてナナカマドの実を食べています
- シロハラ：12月から数羽が記念樹の森等で見られています（右写真）
- マミチャジナイ：12月中旬ようやく初認まだ少数見られています
- シメ：「学びの森」周辺で見られる機会が意外と多いです
- ウソ：ときどき声が聞かれる程度で今のところ少ないです
- カワラヒワ：12月には珍しく10羽以上の群れが滞在していましたが、今は数羽見られるのみです
- マヒワ：12月中旬に30羽土の群れが入り観察機会は多いです。このまま残るか要注目です
- クマゲラ：週に何度も園内で近くで見られたとの情報があり今年は見られる機会が多いです
- ミヤマカケス：例年秋に山から降りて来ますが、今年はまだ来ていません（来ない年もあります）
- ヒレンジャク、キレンジャク：前者が一度見られたのみですがこんな冬は初めてです



2025(令和7)年 巳年 旭山のヘビ

旭山では現在3種類のヘビが確認されています。3種とも無毒です。○以下写真左から。

- アオダイショウ 全体的に青みがかった見えます。見る機会が最も多いヘビです。
- シマヘビ 黒い縦縞があります。森の家の周りで見る機会が多く積まれた薪にいることもあります。
- カラスヘビ シマヘビの全身黒化変異個体で、たまに見られます。
- ジムグリ 上2種より小型でおとなしいヘビです。体に黒いまだら模様が出る個体もいます。

なお、毒のあるマムシの不確かな観察情報があるので注意してください。



「アカゲラ通信」 第135号 2025(令和7)年1月9日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351